

(資料7) 現状・将来フレーム算定方法

項目	単位	現状フレーム算定方法	将来フレーム推計方法	対策なしの算定方法
常住人口	人	1 行政区域内人口を調査 2 平成 12 年国勢調査における町丁字別データを基に 集水域人口を算出 なお、町丁字が集水域界をまたぐ場合は、現地の状況を基に按分	1 国立社会保障・人口問題研究所の日本の市区町村別将来推計人口を基に市町村別人口を設定 2 1 に平成 15 年度末の市町村別集水域内行政人口比率を乗じて集水域内人口を設定	同左
観光人口	人	観光動態調査結果に基づき算出	過去の観光動態推移にもとづき設定	同左
下水道人口	人	実処理人口	計画期間内の整備計画に基づき設定	平成 15 年度の実処理人口 ただし、計画期間内に人口が減少する市町村では、減少率により補正
コミュニティプラント人口	人	実処理人口	計画期間内の整備計画に基づき設定	
農業集落排水人口	人	実処理人口	計画期間内の整備計画に基づき設定	
合併浄化槽人口	人	実処理人口	計画期間内の施設整備による処理人口増加及び下水道等への接続による処理人口減少を見込んで設定	計画期間内の市町村ごとの人口増加分はすべて合併浄化槽人口として設定 計画期間内に人口が減少する市町村では、平成 15 年度の実処理人口を減少率により補正
単独浄化槽人口	人	県資料を基に作成	単純将来人口から上記施策(下水道～合併浄化槽)への取り込み分を引いて設定	平成 15 年度の実処理人口 ただし、計画期間内に人口が減少する市町村では、減少率により補正
し尿処理施設人口	人	県資料を基に作成		
自家処理人口	人	県資料を基に作成		

項目	単位	現状フレーム算定方法	将来フレーム推計方法	対策なしの算定方法
雑排水対策人口	人	単独浄化槽人口及びし尿処理施設人口の合計 定住者は、対策率を考慮して設定 観光客は対策なしとして設定	同左	同左
製造品出荷額	百万円	1 市町村別製造品出荷額を基に算出 2 集水域内従業者数割合により、業種ごとに按分	1 過去の産業中分類別出荷額の推移を考慮し平成 15 年度出荷額に固定又は推定 2 計画期間内の下水道整備状況から新たな下水道接続事業場を設定	過去の産業中分類別出荷額動向を考慮し平成 15 年度出荷額に固定又は推定
家畜頭数	頭	資料及び牛・豚飼養状況に基づき算出	1 過去の頭数の推移に基づき平成 15 年度に固定又は推定 2 県の計画によりふん尿の処理形態別頭数を設定	1 過去の頭数の推移に基づき平成 15 年度に固定又は推定 2 ふん尿の処理形態別頭数比は平成 15 年度に固定
水田、畑、山林、市街地その他	ha	1 市町村別面積を調査 2 集水域をまたぐときは、現地の実態を勘案して按分 3 稲の作付け面積を水田面積とし、転作面積は畑へ、放置等の面積は山林へ振り替え 4 側条施肥田植水田面積は全県の側条施肥田植え面積の比率により設定	1 土地利用の全般の施策を考慮して平成 15 年度に固定 2 側条施肥田植え水田面積は、過去の普及状況の推移に基づき設定	平成 15 年度に固定
貯木量	t	中海水中貯木場の実積及び境港管理組合の実績	過去の貯木量の推移を勘案し平成 15 年度実績に固定	同左